

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 02 月 日作成)

小委員会名	スピーチプライバシーの評価と設計指針刊行小委員会	主 査 名：清水 寧 就任年月：2019 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：持田 灯 主 査 名：岩田 利枝
設 置 期 間	2019 年 04 月 ～ 2021 年 03 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	スピーチプライバシーの評価と設計指針の AIJES を作成、完了し、講習会を行うことにより普及を図る。 ① 初年度：AIJES DS 案の作成とシンポジウム開催 ② 2 年度：AIJES FDS 案の査読完了, パブリックコメント, ES を完成 2021 年 1 月に講習会を開催	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし	
	主査： 幹事： 委員：	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2020 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	日本建築学会環境基準 スピーチプライバシーの評価規準と設計指針 - 音声による情報漏洩防止 -
講習会	1. スピーチプライバシーの評価規準と設計指針 参加者数 44 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. (名称) 参加者数 名 (資料名) 2. (名称) 参加者数 名 (資料名)
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 名 (資料名)
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 予定通り終了 2.
委員会活動の問題点・課題	1. 2.

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の赤字「(設置目的) (書名) (名称) (資料名)」は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2020 年度 小委員会活動 自己評価

(~~中間年度評価~~ 最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>コロナ禍で対面での会議ができず、原稿の修正などで意思疎通に手間取り時間がかかりましたが、委員の皆さんの努力により、Web 会議とオンラインサーバーを利用して予定通りに査読を完了できました。</p> <p>講習会についてもオンラインと会場のハイブリッドで行われ、ビデオ、テキストの作成も予定通り完了できました。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。